

市町村名	石垣市						
平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	石垣島植物工場整備事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部課名	企画部企画政策課			事業実施(予定)年度	平成30年度		
事業内容	観光客及び島民へ新鮮な葉野菜を安定的に供給するため、島内での葉野菜の生産が可能となる植物工場を整備する事業者に対し補助金を交付する。						
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(R1年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H30年度					
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		40,000				
			40,000				
			0				
			0				
			40,000				
		B. 執行済額	40,000				
		うち補助金充当額	32,000				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初の計画どおり、事業者に対し補助金を交付し、事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
	設置工場件数	目標	(1箇所)	()	()	()	
		実績	1箇所				
	作付面積	目標	(30坪)	()	()	()	
		実績	60坪				
達成状況説明	○当初予定していたコンテナではなく、風雨・塩害に強い、RC造りの補助事業者所有の建物を植物工場へと改修、転用した。 ○1段当たり3.3坪×6段×3列により約60坪の作付可能面積が整備できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H30年度)	H30年度	R1年度		
	植物工場における葉野菜の年間生産量	目標		(2.7トン以上)	(32トン以上)	(-)	(-)
		実績	-	0			
	進捗状況説明	○事業計画では平成30年8月に工事が完了し、野菜の生産を行う計画であったが、工場の建設が平成31年2月末までかかったことから、年度内の生産及び収穫ができなかった。なお、平成31年4月からは1日約400株(約32kg)程度生産となっており、令和元年度は年間約111トンの生産が見込まれる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○事業計画で策定した年間生産量の目標(32トン)は、導入機能や規模を決定する前に定めた目標であったため、実際に整備された植物工場の規模ではフル稼働しても達成が困難な目標となっている。	○整備した植物工場の稼働を高め収益化させることで、工場を運営する民間事業者の事業拡大や追加の設備整備につなげ、安定的な葉野菜の供給を目指す。 ○植物工場による野菜生産の強みは災害に強く通年での安定的な生産であるので、通年で葉野菜の需要が見込める販売先を開拓し、路地産物の価格が下がる時期においても植物工場の野菜の販売を安定化させる。
	○時期によっては路地産物との価格の面で不利となっている。	
今後の取り組み方針		
○植物工場の経営を軌道に乗せられるよう、当面は収益性の高い作目の生産を優先させ、収益確保及び生産の効率化を図る。また、計画的な生産拡大の達成に向け、生産計画を現実的な経営計画を踏まえたものに見直し、着実な事業実施及び安定的な葉野菜供給確保に努める。		
○通年で葉野菜を必要とするホテルや飲食店などと野菜販売の年間契約を提案するなど、ターゲットを絞って販路開拓を行う。		

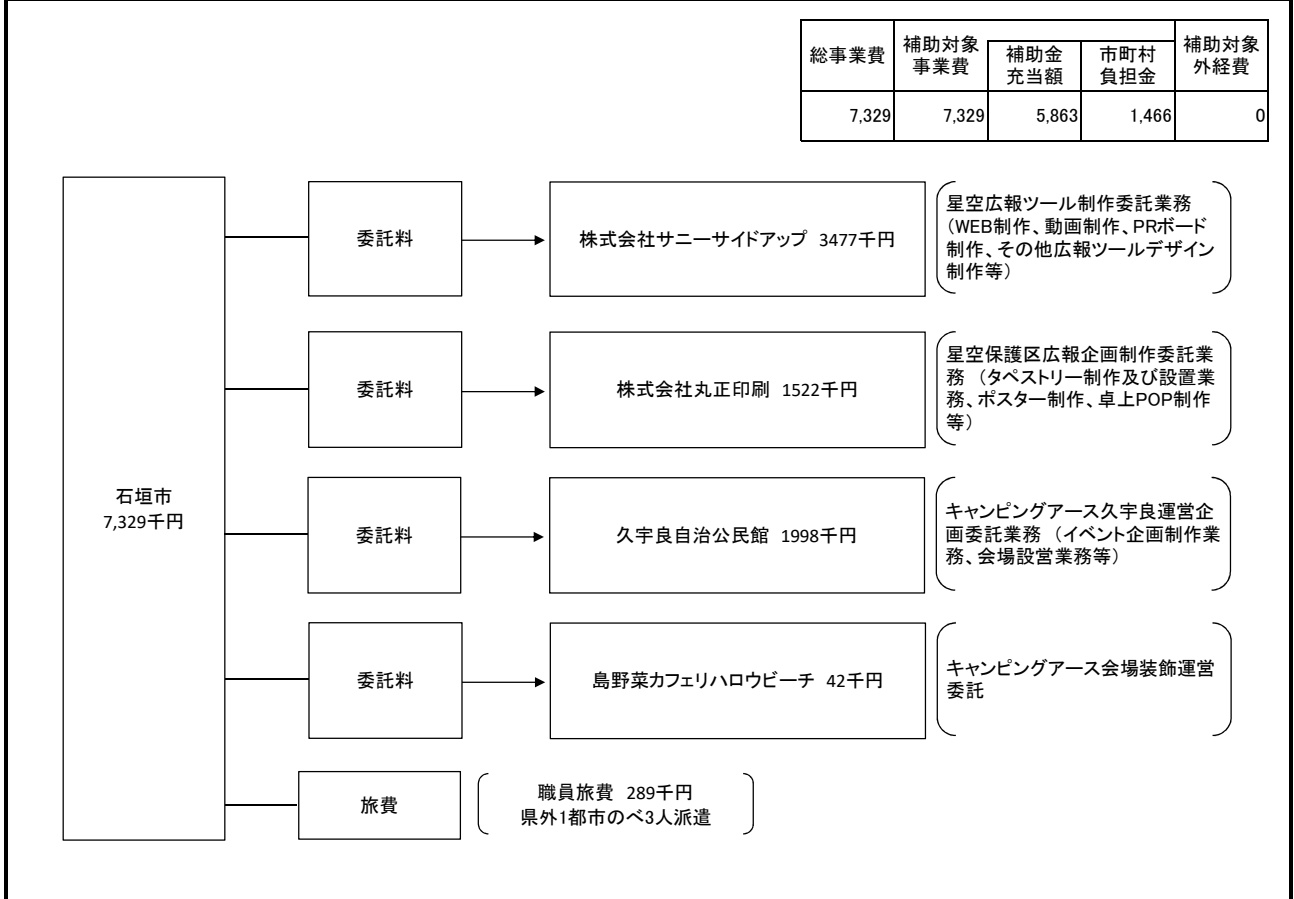
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
	40,000	40,000	32,000	8,000	0
<pre> graph LR A[石垣市 40,000千円] --> B[補助金 40,000千円] B --> C[有限会社黒島組 40,000千円] subgraph D [] C --- E[石垣市植物工場整備事業補助金 (植物工場の整備)] end </pre>					

資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	補助事業者を公募し、プレゼンテーションにより評価して選定しているため妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算について、見積書を参考に予算編成を行っており適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者が所有している建物を植物工場へ改修する費用を補助したものであり、受益者は自己所有物件を供出しているため、負担関係は妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	石垣市						
平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	星空ツーリズム推進事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	観光文化課	事業実施(予定)年度	平成30年度				
事業内容	星空を観光資源として活用し観光誘客を図るため、八重山地区の星空をPRする広報活動及び周知のためのイベント等を行う。						
先進性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H30年度					
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,714				
		(b) 予算現額	7,714				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	7,714				
	B. 執行済額		7,329				
	うち補助金充当額		5,862				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		95.0%				
予算の状況の説明		当初の計画どおり行い、事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度				
	WEBサイト構築、PRツール作成	目標	(完了)	()	()	()	
		実績	完了				
	島内でのPRイベント開催	目標	(開催)	()	()	()	
実績		開催					
達成状況説明	本事業にて実施した広報ツール制作等については、PR映像撮影においては天候の状況に大きく左右され、当初予定していた納期よりも大幅に遅れたが、なんとか年度内には完了することが出来た。市内でのPRイベントにおいては予定通り実施することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度			
	星空ツアー等体験者数	目標		(1,000人以上)	()	()	()
		実績	-	28,700人			-
進捗状況説明	石垣市及び竹富町を含む星空ツアー事業者らに調査し、夜間のガイドツアー等の体験者数を集計した。当初目標としていた11,000人を大幅に上回る実績があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	星空ツアー事業者へのアンケート調査の結果、以下の課題や意見があった。 ・雨天・曇天時には星空の観賞ができない。 ・事業者は個人や零細企業が多く、外国人観光客への対応が困難となっている。	・雨天・曇天時の対応として、星空観賞に代わる代替コンテンツの検討が必要である。 ・個人や零細企業でも活用可能な多言語対応の手法や外国人観光客の満足が得られるツアー内容の検討が必要である。
今後の取り組み方針		
・市が設置するプラネタリウムの活用も含め、星空ツアー事業者と連携して雨天・曇天時における代替コンテンツを検討する。 ・外国人観光客に対応するための翻訳ツールや翻訳サービスの導入など、個人・零細の事業者でも可能な多言語対応を検討する。また、外国人観光客の満足が得られるようツアー内容の改善に向け、事業者相互及び行政との情報共有の場を設定する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先については、プロポーザル入札により選定した。市内でのPRイベントの運営委託については、地域との連携及び実施後の継続的取組みを図るため、開催エリアの自治公民館と随意契約を結んだ。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	過去に本事業と近似するPRツール等の制作を市より受託した実績がある事業者からの一社見積りによる積算のうえ予算編成を行った。また、不用額は事業費の5%であり、予算規模は適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	精算段階で費目や用途について検査をしており、本事業内容に即したものと判断した

市町村名	石垣市
------	-----

平成30年度（繰越）沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	観光客に向けた情報発信強化事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/>	産業振興
			<input type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	企画部 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成30年度
-------	-----------	------------	--------

観光客の利便性を確保し、観光産業の振興を図るため、
 ・市内の主要な観光地等にWi-Fiアンテナを整備する。
 ・既存の観光ARアプリの機能強化を行う。
 ・空港、離島ターミナル、川平湾等の5か所のWi-Fiアンテナに国籍分析専用センサーを設置し、各国別の訪問箇所、滞在日数、周遊ルートの分析を行う。

先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成
	<input type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度	<input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)
--------	---	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
------	-------------------------------	--	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------------

		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	R3年度
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「補助金」+「市町村負担」ベース〕	(a) 当初予算額	70,200	0			
	(b) 予算現額	70,194	70,194			
	(c) 増減額(b-a)	▲6	0			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	70,194	70,194			
	B. 執行済額	0	70,194			
	うち補助金充当額	0	56,155			
	次年度繰越額	▲70,194	0			
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%			
	予算の状況の説明	当初の計画どおり、Wi-Fiアクセスポイント整備、観光アプリケーション機能強化、外国人観光客動向分析調査を行い、事業は適正に実施できた。不用額6千円は公募型プロポーザル方式による事業者選定における執行残である。				

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		Wi-Fiアンテナ整備	目標 (9基)	()	()
	実績	10基			
観光アプリ機能強化	目標 (多言語機能等強化)	()	()	()	
	実績	完了			
達成状況説明	○Wi-Fiアンテナ整備については、バスターミナルや石垣港新港バス、川平湾などに10基整備した。事業者選定委員会の要望を受け、当初予定していた整備数9基から10基へと整備強化を図った。 ○観光ARアプリケーション整備については、多言語(日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語)対応、スポット案内機能、スタンプラリー機能、フォトフレーム機能、防災機能等の強化を行った。 ○外国人観光客動態分析については、スマートフォンのWi-Fi電波を利用して、主要観光5拠点(石垣空港国内線/国際線、石垣港離島ターミナル、川平湾及びビューグレナモール)における国籍別人口比率、周遊ルートや滞在日数の分析を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
			アプリダウンロード数	()	(10,000)	()	()
			実績	-	1,702		-
成果目標(指標)	Wi-Fiアクセス数(アクセスポイント毎の1ヶ月あたりのアクセス数)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	目標	()	(500アクセス)	()	()		
	実績	-	1,065アクセス		-		
成果目標(指標)	観光客の利便性向上(観光客へアンケートを実施し、利便性向上が図られたと回答した割合)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	目標	()	(80%以上)	()	()		
	実績	-	-		-		

進捗状況説明
 ○アプリのダウンロード数については、目標を大きく下回る1,702ダウンロードにとどまる。
 ○Wi-Fiアクセス数について、整備したアクセスポイント毎の月平均は1,065アクセスであった。
 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光客の激減及び感染拡大防止のため、観光客の利便性向上に関するアンケートについては、R2年度以降に実施することとした。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○アプリのダウンロード数が成果目標を大きく下回った要因として、観光客や来島者に対する周知不足があげられる。 また、アプリでの必要な情報として、トイレ、バリアフリー情報が求められている。</p> <p>○Wi-Fiアクセス数について、島を訪れる観光客が年々増加基調で推移していることや、主な観光施設などに効果的に設置したことなどから、成果目標を達成した。(入域観光客数: 1,376,651人(H29)、1,369,412人(H30)、1,471,691人(R1))</p> <p>運用上発覚した問題点として、台風等によりWi-Fiアンテナの故障が時折生じている。</p> <p>○観光客の利便性向上について、外国人観光客の動態分析が必要であるが、本事業では冬季(閑散期)のみの調査実施となった。</p>	<p>○アプリのダウンロード数に関しては、観光アプリの機能等について、観光客や来島者に対し、より効果的に周知広報する必要がある。</p> <p>また、今後は店舗等スポット情報の充実、トイレ等バリアフリー施設情報の追加を行い、外国人や障がい者の利便性の向上に取り組む必要がある。</p> <p>○Wi-Fiアクセス数については、台風襲来時に故障した際、復旧に向けて迅速に対応する必要がある。</p> <p>○観光客の利便性向上については、夏季(繁忙期)における外国人観光客動態分析を実施し、通年での分析を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>○アプリのダウンロード数を増加させるため、県外旅行代理店へのステッカーやポスター配布、国内外主要空港・港湾でのPR活動、若者向けにSNS等で周知を図るなど、より効果的な周知広報に取り組む。</p> <p>また、観光アプリの内容について、店舗情報やトイレ(バリアフリー)情報等の登録情報を増やし、アプリの魅力・利便性の向上を図る。</p> <p>○Wi-Fiのアクセス数については、台風襲来時の故障でも迅速に復旧できるよう、保守管理委託事業者と連携して平時から有事の際のシュミレーションを行い、迅速な復旧を図る。</p> <p>○観光客の利便性向上については、通年での分析を行うため、夏季(繁忙期)における外国人観光客動態分析を行う。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
70,194	70,194	56,155	14,039	0


```

graph LR
    A[石垣市  
70,194千円] --> B[委託料  
70,194千円]
    B --> C[株式会社オーシーシー 70,194千円]
    
```

観光客に向けた情報発信強化事業業務委託(公衆無線LANサービスエリア拡張、観光案内アプリケーション機能拡張、外国人観光客動態分析)

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考える。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算は2社見積りにより行った。また、不用額は事業費の1%以内であり、適正な規模であったと考えられる。
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	石垣市
------	-----

平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	命草を活用した健康食品開発事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/>	産業振興
			<input type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	企画部企画政策課	事業実施(予定)年度	平成30年度
-------	----------	------------	--------

事業内容	石垣島特産の命草(薬草、ハーブ等)関連商品の売上向上を図るため、命草を活用した健康食品開発及び販路開拓を行う。					
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/>	自立性	<input type="checkbox"/>	政策間連携	<input type="checkbox"/>	離島活性化を担う人材の確保・育成
	<input checked="" type="checkbox"/>	官民協働	<input type="checkbox"/>	事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/>	その他

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度	<input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)
--------	------------------------------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
------	-------------------------------	-----------------------------	--	-----------------------------	----------------------------------

		H30年度				
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	47,020			
		(b) 予算現額	47,020			
		(c) 増減額 (b-a)	0			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計 (b+d)	47,020			
	B. 執行済額		47,020			
	うち補助金充当額		37,616			
	次年度繰越額		0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明		当初の計画どおり、事業者に対し補助金を交付し、事業は適正に執行できた。			

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況				
			H30年度			
		命草(薬草・ハーブ)を利用した新商品の開発	目標	(20品)	(-)	(-)
	実績	20品	-	-	-	
	商品生産体制(生産拠点)の構築	目標	(完了)	()	()	()
	実績	完了				
達成状況説明	<p>○平成30年度補助事業により、命草(薬草・ハーブ)を使った新商品(モリンガベーグル、茶碗蒸しのモリンガあん等)を20品を開発した。</p> <p>○市北部地域の空き物件に調理器具や冷凍機材を整備し、命草を利用した商品生産の拠点を構築した。</p>					

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	中間目標値(R5年度)	目標値(R10年度)
			命草(薬草・ハーブ)を利用した新商品の売上高	(-)	(-)	(1000万円/年)
		実績	-	-	144万円	
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
			命草農家の出荷量	(-)	(-)	(-)
		実績	2.0トン	4.8トン	4.2トン	-

進捗状況説明	<p>○本事業で整備した新商品開発・生産体制を活用し、商品の売上げ高は、令和元年度では144万円の実績があり、令和10年度には2000万円/年を目指す。</p> <p>○命草農家の出荷量は、ヨモギやグアバの葉を中心に、令和元年度では4.2トンの実績があり、令和4年度には5.6トンを目指す。</p>					
--------	---	--	--	--	--	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は伝統的に生産されてきた命草を原材料として新商品を開発する取組であるが、命草はこれまで農産物として大規模には生産されていなかったため、量や品質の確保が課題となる。	商品の原材料となる命草の量の確保に向けた安定的生産と品質(特に衛生基準)の確保が必要である。
今後の取り組み方針		
○商品製造に必要な命草の必要量を算定し、その確保が可能な生産が行われるよう、生産者と協議を重ねながら取り組む。また、原材料として求められる品質の基準を定め、安定した品質の確保を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
	50,000	47,020	37,616	9,404	2,980
<pre> graph LR A[石垣市 47,020千円] --> B[補助金 47,020千円] B --> C["(株)ウェルネスメディカル研究所 47,020千円"] </pre> <p>(石垣市命草を活用した健康食品開発事業補助金(命草を活用した食品レシピ開発、設備導入、エビデンス取得等))</p>					

資金の流れ、費目、用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	補助金交付要綱、事業者選考委員会設置要領及び審査要領を定め、補助事業者を公募した。申請内容(事業目的や収支計画等)を市職員で構成した選定委員会による5段階評価で審査し、決定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算について、見積書を参考に予算編成を行っており適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者負担は1割未満となっているが、自走化に向けた事業計画から受益者の今後負うリスクを勘案し、補助割合及び負担関係は妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	石垣市
------	-----

平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	伝統文化を活用した新しいものづくり創出支援事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/>	産業振興
			<input type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	観光文化課	事業実施(予定)年度	平成30年度
-------	-------	------------	--------

事業内容	石垣島の伝統文化と融合・連携した新事業の創出を図るため、融合・連携の場(コワーキングスペース)を整備するとともに、販路開拓に向けた支援を行う。			
	先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)
--------	---

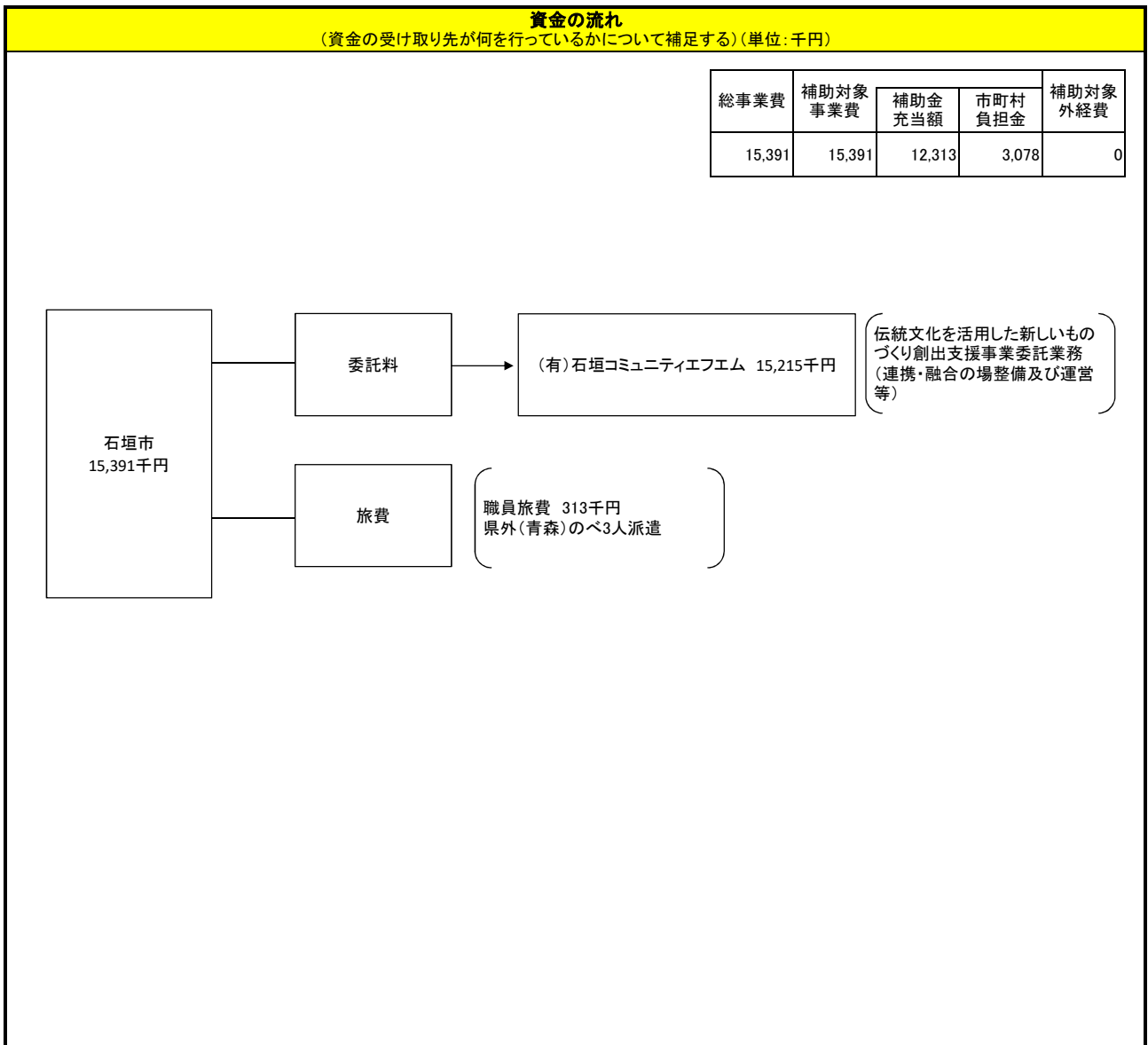
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	--

予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	H30年度				
		予算の状況			
(a) 当初予算額	16,003				
(b) 予算現額	16,003				
(c) 増減額(b-a)	0				
(d) 繰越額	0				
A. 計(b+d)	16,003				
B. 執行済額	15,391				
うち補助金充当額	12,313				
次年度繰越額	0				
執行率(%) (B/A)	96.2%				
予算の状況の説明	当初の計画通り実施し、事業は適正に執行できた。不用額612千円は、旅費実績及び委託実績によるもの。				

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況			
		H30年度			
コワーキングスペースの設置・運営	目標	(設置・運営)	(-)	()	()
	実績	設置・運営	-		
事業創出と連携、販路開拓のための企画イベント実施	目標	(8回開催)	(-)	()	()
	実績	8回開催	-		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペース(シマノバ) プレオープン平成31年1月29日 本オープン平成31年2月15日 ・市内の伝統文化の実演とともに地場産品の購入やサービスの体験等をバイヤーや観光客等の消費者が親しめるイベントを開催した。 ・市民会館屋外でのカルチャーバザール、音楽イベント、シマノバマーケット開催⇒H31年2月16日、3月2日、3月10日、3月22日、3月23日、3月25日 ・シマノバ内アーツギャラリーにて下記企画展示を開催 ①「島とたてものわたしたち」展 平成31年3月1日～3月31日 ②「トロピカル・レインフォレスト・パイオーム」展 平成31年3月16日～3月31日 				

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
本事業を通じた事業創出件数	目標	/	(-)	(-)	(-)	(累計4件以上)
	実績	-	2件			
本事業を通して創出された事業による年間売上高	目標	/	(-)	(-)	(-)	(2,500千円以上)
	実績	-	605千円			
コワーキングスペース利用者数	目標	/	(1,000人以上)	(-)	(-)	(-)
	実績	-	1,039人			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通じた事業創出について、実施期間が3ヶ月と短期間であったがコワーキングスペース利用者からの相談を通じて下記2件の新事業が創出された。 ①シマノバマーケット：ものづくり等で「小さな起業」に取り組む方が商品のテスト販売を行う展示即売会。3月23日に第1回目を開催し、今後も随時開催予定。 ②ISHIGAKI CHAIR「YARABOO」：マッチングにより、市内のクリエイター2者が協業で新製品の椅子を商品化。 ・創出事業による年間売上高60万5千円。 ※上記は「シマノバマーケット」出店売り上げ。新商品「ISHIGAKI CHAIR「YARABOO」」売上はなし。 ・コワーキングスペース(シマノバ)利用者数 26名(1月)、382名(2月)、631名(3月)、合計1,039名 					

		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営、起業相談、イベント企画など、運営スタッフには多様な知識などが必要となるが、限られたスタッフによって俗人的に運営管理を行っている現況である。 施設を継続的に維持管理していくために費用の捻出が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業で開始した取組を安定的・継続的に展開させていくために、スタッフの育成及び増員を行い、支援体制を強化する必要がある。 施設の維持管理費を確保するため、施設で実施する各種取組を収益化する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用者から運営側に回る可能性のあるスタッフ候補者に目星をつけ、各種取組に参加してもらうことなどを通して運営や支援のノウハウを伝授し、将来のスタッフ育成・増員及び支援体制の強化につなげる。 施設で実施している取組のうち、事業創出支援(シマノバマーケット)が活況であるので、開催回数の増や出店料徴収などによる収益化を検討する。 		



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業務委託先を選定するにあたり、当該業務の専門性や、データ分析スキルなどを考慮するため、競争入札ではなく、公募型プロポーザル方式を採用した。1業者の応募があり、仕様に基づき企画提案をもらい事業遂行に必要な要件を満たしていると判断したため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき、随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	業者見積りによる積算のうえ予算編成を行った。また、不用額は事業費の5%未満であり、予算規模は適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	精算段階で事業費内訳(費目や使途)について検査をしており、本事業目的に即したものと判断した。